名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	IT(information technology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	浅井麻衣子
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30時間	開講区分	後期
コース	全コース				（　2　）	曜日・時限	木曜・3限

【授業の学習内容】

社会に出ると、パソコンを使って様々な情報を管理していくことになります。特に「Microsoft」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作は、仕事をする上では最低限求められるスキルで、どのような企業でも使われています。この授業ではMicrosoft Office Word, Excelを使い、ビジネスに必要な文書作成、表計算の基礎を覚え、基本的な文書作成や表計算ができるようにします。
※実務者経験：専門学校にて、Word, Excel, PowerPoint, ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】

Word：基本操作を覚えることで、簡単で見栄えの良いビジネス文書の作成ができる。
Excel：基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。

授業計画・内容	
1回目	Word1-1　基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。
2回目	Word1-2　基本的な操作を覚え、見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
3回目	Word2-1　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。
4回目	Word2-2　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成でき、印刷できる。
5回目	Word3-1　表を作成する操作を覚え、表のあるビジネス文書を作成できる。
6回目	Word3-2　表を作成する操作を覚え、表のある見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
7回目	Word4　Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる。（中間試験）
8回目	Excel1-1　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く）
9回目	Excel1-2　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く、数式）
10回目	Excel1-3　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く、数式、関数を使った計算）
11回目	Excel2-1　棒グラフの作成をすることができる。
12回目	Excel2-2　円グラフの作成をすることができる。
13回目	Excel2-3　複合グラフの作成をすることができ、表とグラフを印刷することができる。
14回目	Excel3　これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。
15回目	Excel4　Excelで表とグラフを作成することができる。（期末試験）
準備学習時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやExcelなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。
評価方法	中間試験と期末試験 80% タイピング・課題成果 20% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 Word、Excelは中間試験、期末試験で評価を行う。
受講生へのメッセージ	IT後期の授業では、ビジネス文書の作成など実際に社会に出たときに活用できる機能をたくさん学んでいきます。 前期でやった内容をよく理解して、後期の内容に進んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト：株式会社滋慶出版　COMPUTER　BACIC　WORD　2013・2016
その他：プリントを用意
データ保存用記憶媒体（USBフラッシュメモリ）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	IT(information technology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	浅井麻衣子
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30時間	開講区分	前期
コース	全コース				（　2　）	曜日・時限	木曜・3限

【授業の学習内容】

情報へのアクセスが容易になった現在では、様々な端末で通信を行い生活する事が当たり前になってきました。社会に出るとパソコンを駆使して情報をまとめ、更にはプレゼンテーションする能力も求められます。この授業では、Microsoft Office Word, Microsoft Office PowerPointを使用し、基本的な操作を覚えることで、視覚的なフライヤーを作成していきます。また、プレゼンテーションの基礎を覚え、プレゼン資料を作成し、授業内で実際にプレゼンテーションを行います。

※実務者経験:専門学校にてWord,Excel,PowerPoint,ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】

①インターネットの現状を学ぶことで、ITリテラシーを身につける。② Wordの基本操作を覚えることで、簡単な文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成(ポスター、フライヤーなど)ができる。③PowerPointの基本操作を覚え、スライド作成の手順を学ぶことで、見やすく説得力のあるスライドを作成し発表することができる。

授業計画・内容	
1回目	ITガイダンス　com portalアカウントを取得し、メールアドレスの設定が完了する。ITリテラシー理解度テストを受け、合格する。
2回目	Word1　基本的な操作を覚え、簡単な文書を作成することができる。
3回目	Word2　基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単な文書を作成することができる。
4回目	Word3　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な文書の作成ができる。
5回目	Word4　図形、画像などを使い、視覚的な文書(フライヤー)の作成、印刷ができる。
6回目	PowerPoint1　基本的な操作を覚え、簡単なスライド作成ができる。
7回目	PowerPoint2　基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単なスライド作成ができる。
8回目	PowerPoint3　作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。
9回目	PowerPoint4　作成したスライドに動画を入れることができる。
10回目	PowerPoint5－①　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
11回目	PowerPoint5－②　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
12回目	PowerPoint5－③　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
13回目	PowerPoint5－④　プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
14回目	PowerPoint6－①　自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。
15回目	PowerPoint6－②　自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。
準備学習時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやPowerPointなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。
評価方法	定期試験50% 課題成果50% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。
受講生へのメッセージ	パソコンの基本的な操作を身につけ、最終的には自分で完成させたスライドでプレゼンテーションをしていきます。授業を通して、自分の思いを言葉にして伝えることの難しさや楽しさ、自分独自の表現を見つけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト:株式会社滋慶出版　COMPUTER　BACIC　WORD　2013・2016
その他:プリントを用意
データ保存用記憶媒体（USBフラッシュメモリ）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	PA実習（ PA workshop ）	必修選択	選択	年次	1年生	担当教員	山口 健太
学科	商業音楽科	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	後期
コース	PAエンジニアコース				6	曜日・時限	月曜日1限～3限

【授業の学習内容】
演習を通し、PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。 マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出し、チェックまでを反復して習得する。 実習の際毎回違う機材を使用して学校内機材の使用方法、機材名を把握する。
※デルタ音響株式会社を経て、現株式会社アズオン（音響会社）にて約10年間、オペレーターとして従事する。

【到達目標】
①学校内機材の使用方法、機材名を把握する。 ②PA基本セット(スタンドスピーカー、16chアナログミキサー、GEQ、CDプレイヤー、マイク数本)を仕込み、音出し、チェックまでを全員ができるようになる。 ③ケーブルを早く巻けるようになる。

授業計画・内容	
1回目	イベント演習(ミュージカル)の反省、改善
2回目	ダイナミックマイク、コンデンサーマイク、DIについて説明する
3回目	モニタースピーカーについて説明し、演習を行う
4回目	メインスピーカー、モニタースピーカーを合わせて仕込み、レベルの取り方やチェックの仕方を演習で行う
5回目	ミキサー周り、アンプ周りの電源の取り方について説明する
6回目	回線表の見方、プランの立て方について説明する
7回目	CDプレイヤーの基本操作、現場にあったオペレートしやすい操作を説明する
8回目	スピーカーケーブル、NL4、NL8の配線、考え方を説明する
9回目	エフェクターの接続、使用方法を演習で行う
10回目	Comp、Gateなどインサート接続を説明し演習で行う
11回目	カラオケ音源でのオペレート演習
12回目	試験(モニタースピーカー、エフェクター、インサート接続など使用)
13回目	回線表、音響プランを制作
14回目	楽器知識を学ぶ、実際に楽器をセッティングして演習を行う
15回目	後期授業内容の復習
準備学習時間外学習	
評価方法	①実技試験40% ②授業態度、取組姿勢30% ③出席率30%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	PA実習（ PA workshop ）	必修選択	選択	年次	1年生	担当教員	山口 健太
学科	商業音楽科	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	前期
コース	PAエンジニアコース				6	曜日・時限	月曜日1限～3限

【授業の学習内容】
演習を通し、PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。 マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出し、チェックまでを反復して習得する。 実習の際毎回違う機材を使用して学校内機材の使用方法、機材名を把握する。
※デルタ音響株式会社を経て、現株式会社アズオン（音響会社）にて約10年間、オペレーターとして従事する。

【到達目標】
①学校内機材の使用方法、機材名を把握する。 ②PA基本セット(スタンドスピーカー、16chアナログミキサー、GEQ、CDプレイヤー、マイク数本)を仕込み、音出し、チェックまでを全員ができるようになる。 ③ケーブルを早く巻けるようになる。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、演習に必要な道具の説明、学校機材の説明
2回目	ケーブルの巻き方、スタンドの立て方、マイクの付け方を覚える
3回目	安全管理(機材の運び方、皮手の必要性)の説明、機材の型番を覚える
4回目	スタンドスピーカー、アナログミキサー、マイク1本の基本セットの仕込み、音出しを説明、演習で行う
5回目	スタンドスピーカー、アナログミキサー、マイク1本の基本セットの仕込みを復習
6回目	基本セットの仕込みにCDプレイヤー、GEQを入れての演習を行う
7回目	コネクターの種類、ケーブルの種類の説明を行う
8回目	電気知識、テスターの使用方法を演習で行う
9回目	マイクの音の違いを聴き比べ理解する
10回目	スピーカーの音の違いを聞き比べ理解する
11回目	ミキサーの機能を説明する(Aux、EQ、Group、Soloなど)
12回目	試験(簡易セットの仕込み、チェック)
13回目	Alphaの組み方、音の出し方を覚える
14回目	NX242などを使用し、プロセッサーについて説明をする
15回目	前期授業内容の復習
準備学習時間外学習	
評価方法	①試験40% ②授業態度、取組姿勢30% ③出席率30%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
ipad 教科書を使用

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	PA実習	必修選択	選択	年次	1年生	担当教員	山口　健太
学科	商業音楽科	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	前期
コース	PAエンジニアコース				6	曜日・時限	月曜日1限～3限

【授業の学習内容】
演習を通し、PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。 マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出し、チェックまでを反復して習得する。 実習の際毎回違う機材を使用して学校内機材の使用方法、機材名を把握する。
※デルタ音響株式会社を経て、現株式会社アズオン（音響会社）にて約10年間、オペレーターとして従事する。

【到達目標】
①学校内機材の使用方法、機材名を把握する。 ②PA基本セット(スタンドスピーカー、16chアナログミキサー、GEQ、CDプレイヤー、マイク数本)を仕込み、音出し、チェックまでを全員ができるようになる。 ③ケーブルを早く巻けるようになる。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、演習に必要な道具の説明、学校機材の説明
2回目	ケーブルの巻き方、スタンドの立て方、マイクの付け方を覚える
3回目	安全管理(機材の運び方、皮手の必要性)の説明、機材の型番を覚える
4回目	スタンドスピーカー、アナログミキサー、マイク1本の基本セットの仕込み、音出しを説明、演習で行う
5回目	スタンドスピーカー、アナログミキサー、マイク1本の基本セットの仕込みを復習
6回目	基本セットの仕込みにCDプレイヤー、GEQを入れての演習を行う
7回目	コネクターの種類、ケーブルの種類の説明を行う
8回目	電気知識、テスターの使用方法を演習で行う
9回目	マイクの音の違いを聴き比べ理解する
10回目	スピーカーの音の違いを聞き比べ理解する
11回目	ミキサーの機能を説明する(Aux、EQ、Group、Soloなど)
12回目	試験(簡易セットの仕込み、チェック)
13回目	Alphaの組み方、音の出し方を覚える
14回目	NX242などを使用し、プロセッサーについて説明をする
15回目	前期授業内容の復習
準備学習時間外学習	
評価方法	①試験40% ②授業態度、取組姿勢30% ③出席率30%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	イヤートレーニング Ⅰ（ Ear training Ⅰ ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜または水曜3, 4限

【授業の学習内容】
作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。
音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、
身の回りの音から創造力を習得する。
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】
音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

授業計画・内容	
1回目	3、4拍子のビート感覚がわかる。2度の音程が歌える、聴き取れる。
2回目	全音、半音の違い、8分音符、C～Eの音を聴き取れる。
3回目	M.mの意味が理解できる。1、8度を聴き取れる。歌える。
4回目	短いフレーズを覚えて楽譜にできる。異名同音の存在が理解できる。M.mの音程が歌える、聴ける。
5回目	簡単な楽譜を見て音を想像できる。
6回目	確認テスト
7回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
8回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。
9回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。
10回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。
11回目	16ビート上で正確に叩ける。
12回目	16ビート上で正確に叩ける。
13回目	メジャーコード、マイナーコードを歌える、聴き取れる。
14回目	テスト対策週
15回目	テスト
準備学習時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	イヤートレーニングⅡ（ Ear training Ⅱ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜または水曜3, 4限

【授業の学習内容】
作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。
音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、
身の回りの音から創造力を習得する。
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】
音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。

授業計画・内容	
1回目	マイナースケールを感じて歌うことができる。
2回目	コードの聴き分けができる。
3回目	臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。
4回目	タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。
5回目	テスト対策(まとめ)
6回目	確認テスト
7回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
8回目	Fclefの音を聴き記譜できる。
9回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
10回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
11回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
12回目	2声のメロディーを聴き分けることができる。
13回目	テスト対策(まとめ)
14回目	テスト
15回目	テスト返却　復習
準備学習時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ステージライティング（Stage Lighting）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	清水　正典
学科	商業音楽科	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	後期
コース	照明ライティング				6	曜日・時限	水曜4,5,6限

【授業の学習内容】
照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。
※株式会社　三光（照明会社）所属。約30年照明オペレーターとして従事している。

【到達目標】
照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期の復習
2回目	仕込み図の作成に伴い必要な要素を学ぶ。電源、灯体、回線図など
3回目	仕込み図を作成する。
4回目	仕込み図を作成する。
5回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
6回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
7回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
8回目	ホール演習に向けての準備。役割分担
9回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
10回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
11回目	ホール演習　瑞穂文化小劇場　劇場でのオペレートを行う。
12回目	ホール演習　振り返り
13回目	卒業進級展に向けて役割分担。
14回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
15回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
準備学習時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ステージライティング（Stage Lighting）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	清水 正典
学科	商業音楽科	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	前期
コース	照明ライティング				6	曜日・時限	水曜4,5,6限

【授業の学習内容】
照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。
※株式会社　三光（照明会社）所属。約30年照明オペレーターとして従事している。

【到達目標】
照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明、機材説明　舞台機構
2回目	機材説明、ケーブルコネクターの説明　巻き方　色について　LHQでの色の混ざり方を学ぶ
3回目	仕込み演習Ⅰ　簡単な仕込み図の見方　書き方　調光卓の操作について学ぶ
4回目	仕込み図の作成　調光卓/PINSPOTの操作について学ぶ
5回目	照明仕込み 照明シュートについて　調光卓の操作について学ぶ
6回目	照明仕込み 照明シュートについて　調光卓の操作について学ぶ
7回目	サオによる照明シュートについて学ぶ
8回目	学園祭に向けての準備。仕込み図、機材選定を行う。
9回目	学園祭での役割と反省点
10回目	ホール演習準備　役割分担
11回目	ホール演習準備　仕込み図、機材リストの確認
12回目	ホール演習　港文化小劇場　ホール説明　照明設備説明　前明かりのシュート
13回目	仕込み演習　劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
14回目	仕込み演習　劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
15回目	ミュージカルの舞台製作の振り返り。
準備学習時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ビジネスマナーⅠ（business mannerⅠ）	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	和田哲幸
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	マネージャーコース				2	曜日・時限	月曜・1限目

【授業の学習内容】
実務の現場で役に立つ芸能プロダクションのマネージャーとして活動するために、基本的な知識や各業界との関連性を知ることを通して、業界の業務を俯瞰的に知ることができるようになる。
また実習では、芸能タレントが活動する現場を見学してマネージャーの立ち居振る舞いを知る。
※実務経験：2017年5月～株式会社サンミュージック名古屋代表取締役に就任、芸能プロダクションの経営に携わる。

【到達目標】
実戦的な講義・演習を通して、芸能プロダクションの業務の全容を知ることができ、社会に出た後には、即戦力として”稼げるマネージャー”として活躍することができるような心構えを持つようになる。
①芸能プロダクションの各市場について
②芸能プロダクションの4種類の業務について

授業計画・内容	
1回目	前期講義のまとめ／後期講義のガイダンス
2回目	芸能プロダクションの業務①育成／ユニットデビューまでのステップ①
3回目	芸能プロダクションの業務②プロデュース／ユニットデビューまでのステップ②
4回目	芸能プロダクションの業務③マネジメント／ユニットデビューまでのステップ③
5回目	芸能プロダクションの業務④ファンの管理／ユニットデビューまでのステップ④
6回目	ケーススタディ①アイドルユニットのデビュー①
7回目	ケーススタディ①アイドルユニットのデビュー②
8回目	ケーススタディ①アイドルユニットのデビュー③
9回目	ケーススタディ②アクションユニットのデビュー①
10回目	ケーススタディ②アクションユニットのデビュー②
11回目	ケーススタディ②アクションユニットのデビュー③／年間講義のまとめ
12回目	演習①芸能プロダクション現場見学（音楽イベント）
13回目	演習②芸能プロダクション現場見学（ステージイベント）
14回目	演習③芸能プロダクション現場見学（路上イベント）
15回目	演習③芸能プロダクション現場見学（その他イベント）
準備学習 時間外学習	講義の後半に行う『新ユニット』デビューのために、比較のための予備調査などを準備学習として行う。 演習では事前知識なしで参加することがないように、インターネットなどで予備調査を行う。
評価方法	1. 講義への参加意識（50%） 2. 課題成果（30%） 5. 実習参加（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	本講義では、基本的な知識のほかに実際の芸能の現場で起こっていることを解説していくことで、業界全体を立体的に掴むことを目的としています。 テレビを通しては決して知ることのできない生の現場の話を皆さんと共有したいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：
芸能プロダクション現役社長に学ぶ　芸能マネージャー実務の教科書　基礎知識編（和田哲幸著）
参考書：
ゼロからでもはじめられるアイドル運営（田家大知著）
ミュージシャンが知っておくべきマネジメントの実務 答えはマネジメント現場にある!（山口哲一著）　ほか

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	ビジネスマナーⅠ（business manner Ⅰ）	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	和田哲幸
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	マネージャーコース				2	曜日・時限	月曜・1限目

【授業の学習内容】
実務の現場で役に立つ芸能プロダクションのマネージャーとして活動するために、基本的な知識や各業界との関連性を知ることを通して、業界の業務を俯瞰的に知ることができるようになる。
また実習では、芸能タレントが活動する現場を見学してマネージャーの立ち居振る舞いを知る。
※実務経験：2017年5月～株式会社サンミュージック名古屋代表取締役に就任、芸能プロダクションの経営に携わる。

【到達目標】
実戦的な講義・演習を通して、芸能プロダクションの業務の全容を知ることができ、社会に出た後には、即戦力として”稼げるマネージャー”として活躍することができるような心構えを持つようになる。
①芸能プロダクションの各市場について
②芸能プロダクションの4種類の業務について

授業計画・内容	
1回目	ガイダンスの実施、アンケートの収集、自己紹介
2回目	芸能タレントの定義を知る／新ユニットデビューの検討①総論
3回目	芸能タレントと芸能プロダクションの関係性を知る／新ユニットデビューの検討②類似ユニットの比較
4回目	芸能プロダクションの種類／新ユニットデビューの検討③／類似ユニットの評価
5回目	タレントが働く市場①総論／新ユニットデビューの検討④自社ユニットのコンセプト検討①
6回目	タレントが働く市場②ステージ市場／新ユニットデビューの検討⑤自社ユニットのコンセプト検討②
7回目	タレントが働く市場③放送市場1／新ユニットデビューの検討⑥自社ユニットのコンセプト検討③
8回目	タレントが働く市場④放送市場2／新ユニットデビューの検討⑦ユニットメンバーの評価①
9回目	タレントが働く市場⑤音楽市場／新ユニットデビューの検討⑧ユニットメンバーの評価②
10回目	タレントが働く市場⑥映画市場／新ユニットデビューの検討⑨ユニットメンバーの評価③
11回目	タレントが働く市場⑦広告市場／前期講義のまとめ
12回目	演習①芸能プロダクション現場見学（音楽イベント）
13回目	演習②芸能プロダクション現場見学（ステージイベント）
14回目	演習③芸能プロダクション現場見学（路上イベント）
15回目	演習③芸能プロダクション現場見学（その他イベント）
準備学習 時間外学習	講義の後半に行う『新ユニット』デビューのために、比較のための予備調査などを準備学習として行う。 演習では事前知識なしで参加することがないように、インターネットなどで予備調査を行う。
評価方法	1. 講義への参加意識（50%） 2. 課題成果（30%） 5. 実習参加（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	本講義では、基本的な知識のほかに実際の芸能の現場で起こっていることを解説していくことで、業界全体を立体的に掴むことを目的としています。 テレビを通しては決して知ることのできない生の現場の話を皆さんと共有したいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：
芸能プロダクション現役社長に学ぶ　芸能マネージャー実務の教科書　基礎知識編（和田哲幸著）
参考書：
ゼロからでもはじめられるアイドル運営（田家大知著）
ミュージシャンが知っておくべきマネジメントの実務 答えはマネジメント現場にある!（山口哲一著）　ほか

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	プロダクション実務Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池淵雄也
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	コンサート企画制作				2	曜日・時限	火曜日2限

【授業の学習内容】
アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。
※コンサートプロモーターの制作実務を行う。

【到達目標】
プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。

授業計画・内容	
1回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」課題定義①
2回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」現状分析
3回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り出す。
4回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り出す。
5回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」 発表
6回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」 発表
7回目	総括
8回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」課題定義②
9回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」現状分析
10回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り出す。
11回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り出す。
12回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」 各グループ発表
13回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」 各グループ発表
14回目	テスト
15回目	総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度（10%） レポート（10%） 実地試験（80%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	プロダクション実務Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	池淵雄也
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	コンサート企画制作				2	曜日・時限	火曜日2限

【授業の学習内容】
アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。
※コンサートプロモーターの制作実務を行う。

【到達目標】
プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。

授業計画・内容	
1回目	アンケート実施。生徒の好きな音楽、普段の音楽に関する市場調査実施。
2回目	各自、題材を決め　アーティストをプレゼンテーションする
3回目	各自、題材を決め　アーティストをプレゼンテーションする
4回目	レコード会社のプロモーター基本編　アーティスト資料について学ぶ
5回目	エイベックス創業者について学ぶ（映像視聴）
6回目	秋元康のAKBプロジェクを通じて、プロデュースについて学ぶ
7回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ
8回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ
9回目	考える力・考える癖を つける基本　自分の意見をもつことの重要性について学ぶ
10回目	考える力・考える癖を つける基本　自分の意見をもつことの重要性について学ぶ
11回目	市場調査　タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する
12回目	市場調査　タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する
13回目	音楽業界の著名人のインタビューを考察し、レポート提出
14回目	テスト
15回目	総括
準備学習時間外学習	
評価方法	授業態度（10%） レポート（10%） 実地試験（80%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	プロダクション実務Ⅱ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	田川晴子
学科	商業音楽	授業形態	実習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	マネージャー／コンサート企画制作				2	曜日・時限	水曜／3、4、5限

【授業の学習内容】

Illustrator＆Photoshopの実践的な使用方法を学び、イメージを的確にビジュアル化できる能力を習得。グッズデザインやPOPデザインなど、仕事におけるグラフィックソフトの役割を体感できるような課題をこなし、企画力・構成力を養うとともにデザイン力を身につけるような授業を実施します。

【到達目標】

企画力・構成力・表現力・発想力を養うとともに、頭の中のイメージを的確にビジュアル化できるスキルを身につけ、仕事に活かせる力の習得を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	＜スキルチェック＞Illustratorを使用して自己PRチラシを制作。出来上がりデータからスキルチェックします①
2回目	＜復習＞前回のスキルチェックから、不足と思われるスキルを補うため再度Illustratorのツールの説明をします
3回目	＜課題1-1＞ロゴのトレース。ペンツールを使用して曲線や直線の描画、パスの作成
4回目	＜課題1-2＞ロゴのトレース。ペンツールを使用して曲線や直線の描画、パスの作成
5回目	＜課題2-1＞アーティストロゴ制作。手描きラフのチェック＆アドバイスをし正確なラフを作成します
6回目	＜課題2-2＞アーティストロゴ制作。手描きラフのチェック＆アドバイスをし正確なラフを作成します
7回目	＜課題2-3＞アーティストロゴ制作。手描きラフのチェック＆アドバイスをし正確なラフを作成します
8回目	＜課題3-1＞アーティストロゴ制作。Illustratorを使用してデザインデータを制作します
9回目	＜課題3-2＞アーティストロゴ制作。Illustratorを使用してデザインデータを制作します
10回目	＜課題4-1＞アーティストロゴ制作。完成データをチェック＆アドバイスをしブラッシュアップし完成させます
11回目	＜課題4-2＞アーティストロゴ制作。完成データをチェック＆アドバイスをしブラッシュアップし完成させます
12回目	＜課題5-1＞アーティストロゴ制作。Photoshopを使用しグッズなどの画像に合成し実際のイメージを掴みます□
13回目	＜課題5-2＞アーティストロゴ制作。Photoshopを使用しグッズなどの画像に合成し実際のイメージを掴みます□
14回目	＜テスト①＞前期で学んだスキルを使った制作テストを行い評価します
15回目	＜テスト②＞前期で学んだスキルを使った制作テストを行い評価します
準備学習時間外学習	通学時間やプライベートを有効活用し巷の情報に意識を向けることが必要です。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 出席評価50%＋授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）20%＋技術評価（学期末テストの採点結果）30%とする。
受講生へのメッセージ	イメージしたモノがカタチになる面白さを学びましょう。日常生活で目にしているものすべてにヒントがあります。そして疑問を持ちそれについての答えを考えましょう。考えることでアイデアは生まれます。PhotoshopとIllustratorの実践に活かせる基礎知識と想像力・発想力・表現力をを習得しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

Illustrator&Photoshopテキスト、ウェブサイト、記憶メディア

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2022年度 シラバス

科目名（英）	プロダクション実務Ⅱ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	田川晴子
学科	商業音楽	授業形態	実習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	マネージャー／コンサート企画制作				2	曜日・時限	水曜／3、4、5限

【授業の学習内容】

Illustrator＆Photoshopの実践的な使用方法を学び、イメージを的確にビジュアル化できる能力を習得。グッズデザインやPOPデザインなど、仕事におけるグラフィックソフトの役割を体感できるような課題をこなし、企画力・構成力を養うとともにデザイン力を身につけるような授業を実施します。

【到達目標】

企画力・構成力・表現力・発想力を養うとともに、頭の中のイメージを的確にビジュアル化できるスキルを身につけ、仕事に活かせる力の習得を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	＜課題3-1＞Tシャツデザイン。手描きラフ作成で企画力・構成力を養います
2回目	＜課題3-2＞Tシャツデザイン。手描きラフ作成で企画力・構成力を養います
3回目	＜課題3-3＞Tシャツデザイン。手描きラフのチェック＆アドバイスをし正確なラフを作成します
4回目	＜課題3-4＞Tシャツデザイン。手描きラフのチェック＆アドバイスをし正確なラフを作成します
5回目	＜課題3-5＞Tシャツデザイン。Illustratorを使用してデザインデータを制作します
6回目	＜課題3-6＞Tシャツデザイン。Illustratorを使用してデザインデータを制作します
7回目	＜課題4-1＞チラシ広告のデザイン模写。
8回目	＜課題4-2＞チラシ広告のデザイン模写。
9回目	＜課題4-3＞課題で作成したロゴやTシャツ等を使用しイベント告知フライヤー制作。手描きラフのチェック
10回目	＜課題4-4＞課題で作成したロゴやTシャツ等を使用しイベント告知フライヤー制作。手描きラフのチェック
11回目	＜課題4-5＞課題で作成したロゴやTシャツ等を使用しイベント告知フライヤー制作。デザインデータを制作します
12回目	＜課題4-6＞課題で作成したロゴやTシャツ等を使用しイベント告知フライヤー制作。デザインデータを制作します
13回目	＜課題4-7＞課題で作成したロゴやTシャツ等を使用しイベント告知フライヤー制作。デザインデータを制作します
14回目	＜テスト①＞後期で学んだスキルを使った制作テストを行い評価します
15回目	＜テスト②＞後期で学んだスキルを使った制作テストを行い評価します
準備学習時間外学習	通学時間やプライベートを有効活用し巷の情報に意識を向けることが必要です。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 出席評価50%＋授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）20%＋技術評価（学期末テストの採点結果）30%とする。
受講生へのメッセージ	イメージしたモノがカタチになる面白さを学びましょう。日常生活で目にしているものすべてにヒントがあります。そして疑問を持ちそれについての答えを考えましょう。考えることでアイデアは生まれます。PhotoshopとIllustratorの実践に活かせる基礎知識と想像力・発想力・表現力をを習得しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

Illustrator&Photoshopテキスト、ウェブサイト、記憶メディア

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2022年度 シラバス

科目名(英)	プロダクション実務Ⅲ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石川利江子
学科	商業音楽科	授業形態	座学	総時間	30	開講区分	前期
コース	コンサート企画制作・舞台制作＆ステージデザイナー マネージャー			(単位)	2	曜日・時限	金曜日3限

業の学習内　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ダンス・ミュージカルのイベント制作や運営業務などの実務経験あり。
音楽・舞台業界において基本的な知識をイベントを例に習得する。

【到達目標】

音楽・舞台業界の仕事に携わる上で、マネージャーとしてだけではなく、運営・制作の知識も習得し幅広く活躍できる人材になる。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・音楽業界用語について
2回目	ライブハウス基礎知識 ホール代・楽器知識
3回目	舞台基礎知識 図面の見方
4回目	運営マニュアルについてⅠ
5回目	運営マニュアルについて・各資料の見方Ⅱ
6回目	タイムスケジュールについて
7回目	楽器知識Ⅰ
8回目	楽器知識Ⅱ
9回目	各スタッフの仕事について
10回目	制作スケジュールの作成について
11回目	進行台本の作成について
12回目	自主企画イベントを想定　チーム作り・ブレストⅠ
13回目	自主企画イベントを想定　資料作成Ⅱ
14回目	自主企画イベントを想定　資料作成Ⅲ
15回目	自主企画イベントを想定　発表・質疑応答Ⅳ
13回目	自主企画イベントを想定　発表・質疑応答Ⅴ
14回目	テスト
15回目	テスト返却・振り返り
準備学習時間外学習	
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ
受講生へのメッセージ	

書・教材・参考書】

iPad/PC

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名(英)	プロダクション実務Ⅲ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	石川利江子
学科	商業音楽科	授業形態	座学	総時間(単位)	30	開講区分	後期
コース	コンサート企画制作・舞台制作＆ステージデザイナー マネージャー				2	曜日・時限	金曜日・3限

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ダンス・ミュージカルのイベント制作や運営業務などの実務経験あり。
音楽・舞台業界において基本的な知識をイベントを例に習得する。

【到達目標】

Hospital Of Miracleを通じて、ミュージカル公演の運営・制作知識を深めるとともに人間性を養う

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・入学式振り返り
2回目	役割分担 ・プロモーションとは
3回目	決起集会 /プロモーション＆動員計画と対象
4回目	プロモーション 進捗報告会・制作スケジュール作成
5回目	学園祭合同MT /HOM プロモーション進捗報告
6回目	学園祭合同MT /HOM プロモーション進捗報告 ・電話掛け・チラシ発送物準備
7回目	HOM プロモーション進捗報告 ・電話掛け・チラシ発送
8回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅰ
9回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅱ
10回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅲ
11回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅳ
12回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅴ
13回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅵ
14回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋）作業Ⅶ
15回目	全体 /運営マニュアルに基づき最終確認
13回目	本番
14回目	本番振り返り /テスト
15回目	テスト返却・振り返り
準備学習時間外学習	
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ
受講生へのメッセージ	

【書・教材・参考書】

iPad/PC

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	映像企画制作Ⅰ（Video planning and production Ⅰ）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤 聖也
学科	商業音楽科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	コンサート企画制作				4	曜日・時限	木曜日 1、2限

【授業の学習内容】
映像の企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識（PCにおいてのアプロケーション知識、SNS知識・舞台基礎）を中心に行う。
※Zepp Nagoyaでのコンサート業務に携わる。その後、フォーチューンエンターテインメント（芸能プロダクション）、各種イベント制作会社を経て、現NSM職員

【到達目標】
映像制作を行う上で必要な知識・技能の習得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	タイムスケジュール・進行表作成①
2回目	タイムスケジュール・進行表作成②
3回目	尺貫法・舞台大道具について②
4回目	HP制作技術講座①
5回目	HP制作技術講座②
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識②
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）③
8回目	音源データ作成知識（Garageband etc）④
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について③（Twitter・Youtubeなど）
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について④補足：データフォーマットに関して復習
11回目	大道具舞台組み実習①
12回目	大道具舞台組み実習②
13回目	野外設営知識①
14回目	野外設営知識②
15回目	照明予備知識について②
準備学習時間外学習	課題提出あり
評価方法	小テスト（20%） 課題成果（70%） 実地試験（10%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	映像企画制作Ⅱ（Video planning and production Ⅰ）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤 聖也
学科	商業音楽科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	コンサート企画制作				4	曜日・時限	木曜日 1、2限

【授業の学習内容】
映像の企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識（PCにおいてのアプロケーション知識、SNS知識・舞台基礎）を中心に行う。
※Zepp Nagoyaでのコンサート業務に携わる。その後、フォーチューンエンターテインメント（芸能プロダクション）、各種イベント制作会社を経て、現NSM職員

【到達目標】
映像制作を行う上で必要な知識・技能の習得を目指す。

授業計画・内容	
1回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）①
2回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）②
3回目	尺貫法・舞台大道具について①/プロモーター会社運営について
4回目	ドラムの組み方/電源知識①/チラシコーディネート
5回目	道具の種類・使い方について
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識①/カラーコーディネート知識
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）①
8回目	台本の読み取り方・メモの取り方・活用方法
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について①（Twitter・Youtubeなど）
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について②補足：データフォーマットに関して
11回目	機材端子/電源について②
12回目	楽器基礎知識について/電源について②
13回目	舞台制作①/道具についておさらい
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	照明予備知識について①
準備学習時間外学習	課題提出あり
評価方法	小テスト（20%） 課題成果（70%） 実地試験（10%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	映像企画制作Ⅱ（Video planning and production Ⅰ）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	鈴川貴久
学科	商業音楽科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	コンサート企画制作				2	曜日・時限	金曜 4限

【授業の学習内容】
映像制作に必要なIllustrator&Photoshopの基本的動作、デザインスキルの習得。頭に描いたビジュアルほ画面を通してどれだけ正確にカタチに出来るかを考え、反復練習を繰り返す中で様々なデザインの知識と技術を制作媒体を介して習得します。
※デザイン会社を経てフリーランスとして活動。Web、広告、アミューズ（芸能プロダクション）などのファンクラブ会報などを手掛ける。

【到達目標】
様々なPC環境での適応能力向上とデザイン思考の向上など、イメージの具現化と印刷入稿データスキルの習得を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	【Illustrator】オペレーション確認。前期で学んだ基本的動作（トリムマーク・書式・ベジェ曲線・様々なデータ書き出しなど）をポイントに演習します。
2回目	【Photoshop】オペレーション確認　一年生時に学んだ基本的動作（色調補正・効果・切り抜き・合成など）をポイントに演習します。
3回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの制作①　アーティスト名を題材にオリジナルのロゴを複数案考え制作します。ロゴマークの演習から様々な考え方を習得します。
4回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの制作②　ロゴマークの使用シーンを考えモノクロ・カラー・特色でのデータの作り方を演習します。
5回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開①　制作したロゴマークを使用して様々な媒体のデザイン案を5点決定し、展開を考えたデザイン演習を行います。
6回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開②　制作したロゴマークを使用して様々な媒体のデザイン案を5点決定し、展開を考えたデザイン演習を行います。
7回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開③　画面の中のサイズ感ではなく、実サイズでのサイズ感を原寸出力から感覚を持ち、ギャップがどの位感じられるかを演習から習得します。
8回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開④　ブラッシュアップと様々な媒体への入稿データなどを演習からポイントを習得します。
9回目	人物撮影＆物撮りについてのポイントを様々な実例から構図を習得する。
10回目	紙媒体・ソーシャルメディア媒体でのレイアウトの考え方を習得する。
11回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作①　B5×12ページ　オールカラー　中綴じ製本。各ページの構成要素をどの様に制作するか様々なアーティストからポイントを習得します。
12回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作②　各ページの構成要素を決め、必要素材、情報等を考えスケジュールを計画し演習します。
13回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作③　制作素材と情報収集からどのようにすればイメージを具現化出来るかをポイントとして演習します。
14回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作④　制作素材と情報収集からどのようにすればイメージを具現化出来るかをポイントとして演習します。
15回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作⑤　イメージの具現化出来るかをポイントとして実習します。制作の具現化においてアナログ要素・デジタル要素の表現についても演習から表現の違いを習得する。
準備学習時間外学習	様々な印刷媒体から情報の優先順位を意識して読み取り、デザインの構成要素（文字・線・図形・色調・素材）から作業段取りをイメージすることが必要です。
評価方法	出席評価50%＋授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）10%＋技術評価40%とする。 なお、本授業においての技術評価は「レイアウトの構成力、適正データ制作」とする。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	映像企画制作Ⅱ（Video planning and production Ⅰ）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	鈴川貴久
学科	商業音楽科	授業形態	講義演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	コンサート企画制作				2	曜日・時限	金曜 4限

【授業の学習内容】
映像制作に必要なIllustrator&Photoshopの基本的動作、デザインスキルの習得。頭に描いたビジュアルほ画面を通してどれだけ正確にカタチに出来るかを考え、反復練習を繰り返す中で様々なデザインの知識と技術を制作媒体を介して習得します。
※デザイン会社を経てフリーランスとして活動。Web、広告、アミューズ（芸能プロダクション）などのファンクラブ会報などを手掛ける。

【到達目標】
様々なPC環境での適応能力向上とデザイン思考の向上など、イメージの具現化と印刷入稿データスキルの習得を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	【Illustrator】ベジェ曲線① ベジェ曲線から構成されるロゴマーク・キャラクターなどの制作からあらゆるカタチを自由に描くテクニックを演習する。
2回目	【Illustrator】ベジェ曲線② アンカーポイントとハンドルから導き出す直線美・曲線美についての特徴と問題点、解決策他を実制作から習得する。
3回目	【Illustrator】ベジェ曲線③ ベジェ曲線で表現される図形・アウトライン文字・線など合体・切り抜きなどの効果の組合せから様々な表現技法を演習する。
4回目	【Illustrator&Photoshop】カラー設定 減法混色・加法混色・特色についてどのような特徴と問題点があるのかを実例を基に習得する。
5回目	【Illustrator&Photoshop】トリムマーク 様々な媒体で必要不可欠となるトリムマークの意味と正しいデータの制作方法を様々な媒体データを基にして演習する。
6回目	【Photoshop】画像処理① 色調補正・画像修正について様々な表現方法を演習する。
7回目	【Photoshop】画像処理② 画像の切り抜きについて様々な表現方法を演習する。
8回目	【Photoshop】画像処理③ 画像の切り抜きのテクニックと特徴と問題点や解決策など様々な媒体を基に習得する。
9回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作① 1回目～8回目までの理解度を確認しイメージの具現化と段取りがスムーズに出来ているかなどをポイントとして演習します。
10回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作② イメージを具現化するための素材・効果など、基礎・応用・表現テクニックを考え演習します。
11回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作③ レイアウトのポイント、余白のバランスなどを意識した表現方法を演習する。
12回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作④ ブラッシュアップの重要性と印刷入稿データについて習得する。
13回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作① ベジェ曲線と文字の組合せから、用途に合わせたマップ制作の技法を習得する
14回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作② 情報の優劣を整理し用途に合わせた表示のカタチやテクニックを実習する。
15回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作③＆評価 線の結び目、交差点、情報、など案内図としての様々な表現方法を様々な媒体を基にして演習し習得する。
準備学習時間外学習	様々な印刷媒体から情報の優先順位を意識して読み取り、デザインの構成要素（文字・線・図形・色調・素材）から作業段取りをイメージすることが必要です。
評価方法	出席評価50%＋授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）10%＋技術評価40%とする。 なお、本授業においての技術評価は「レイアウトの構成力、適正データ制作」とする。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	英会話（ English Conversation ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜5.6限

【授業の学習内容】
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。
実務者経験：英語教授関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。

【到達目標】
・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。
・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。
・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。

授業計画・内容	
1回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる
2回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる
3回目	L.19＆20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる
4回目	L.19＆20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる
5回目	L.21＆23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ
6回目	L.21＆23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ
7回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。
8回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。
9回目	L.29＆30 過去の出来事について述べられるようになる
10回目	L.29＆30 過去の出来事について述べられるようになる
11回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる
12回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる
13回目	総復習
14回目	学期末試験
15回目	試験返却、解説
準備学習時間外学習	授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

「Speak Now 1」Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	英会話（ English Conversation ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	火曜、水曜5,6限

【授業の学習内容】
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。
実務者経験：英語教授関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。

【到達目標】
・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。
・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。
・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。

授業計画・内容	
1回目	L.1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ
2回目	L.1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ
3回目	L.3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる
4回目	L.3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる
5回目	L.6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。
6回目	L.6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。
7回目	L.8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ
8回目	L.8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ
9回目	L.11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ
10回目	L.11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ
11回目	L7,13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる
12回目	L7,13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる
13回目	総復習
14回目	学期末試験
15回目	試験返却、解説
準備学習時間外学習	授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

「Speak Now 1」Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	音楽史（ musical history ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	水沼 慎一郎
学科	商業音楽科	授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	全コース				2	曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】
海外を中心にポピュラーミュージックの歴史認識を習得する。
※作曲家・ピアニスト　新潟大学卒業。スコラ・カントルム（フランス・パリ）卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティーノの各氏に師事。

【到達目標】
世界的なスタンダードとされる音楽ジャンル、ミュージシャンについての知識を習得し、国内はもとより海外でも通用する知識の習得。また、日本の音楽ビジネスの現状を世界のルーツを研究することで、より深い認識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。海外の音楽シーンの現状を把握する
2回目	楽器、機材の遍歴と音楽ジャンルの関係性を知る
3回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
4回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
5回目	50年代　アメリカ　ロックンロールの誕生①ブラックミュージックの状況
6回目	50年代　アメリカ　ロックンロールの誕生②楽器生産の動向
7回目	60年代　モータウン　ブラックミュージックの革命と公民権運動
8回目	60年代　サイケデリックミュージック　ドラッグカルチャーと大型ロックフェス
9回目	70年代　ハードロック、グラムロック　表現手法の多様化
10回目	70年代　ファンクミュージック、ディスコブーム
11回目	70年代　パンクロック　既存の音楽の解体
12回目	80年代　HIPHOPカルチャー　MTV登場によるメディア革命
13回目	海外の音楽　エンターテインメントについて　テクノロジーや最先端のパフォーマンスを探る
14回目	日本の音楽シーンを振り返る　ミリオンヒットについて
15回目	筆記テスト　総括
準備学習時間外学習	
評価方法	1：定期試験10% 2：レポート10% 3：出席率60% 4：授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：音楽史（洋楽編iPad）
配布資料他

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	音楽史（ musical history ）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	水沼 慎一郎
学科	商業音楽科	授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	全コース				2	曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】
実際の楽曲を通し、様々な音楽の歴史を深く学んでいく。
※作曲家・ピアニスト　新潟大学卒業。スコラ・カントルム（フランス・パリ）卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティーノの各氏に師事。

【到達目標】
日本と世界の音楽史を学び比較し、これからの音楽を考えていく力を習得する。

授業計画・内容	
1回目	ポピュラー音楽を中心とした歴史背景の説明
2回目	日本の音楽と世界の歴史的背景
3回目	西洋音楽史①：古代の音楽
4回目	西洋音楽史②：中世の音楽
5回目	西洋音楽史③：近代の音楽
6回目	西洋音楽史④：現代の音楽
7回目	西洋音楽史⑤：ブルースからジャズ
8回目	西洋音楽史⑥：ポップス
9回目	日本音楽史①：ポピュラー全盛期
10回目	日本音楽史②：民謡
11回目	日本音楽史③：雅楽
12回目	日本と東洋・欧米の音楽的関係：俯瞰分析
13回目	テスト範囲総括
14回目	筆記テスト
15回目	テスト返却　総括
準備学習時間外学習	
評価方法	1：定期試験10% 2：レポート10% 3：出席率60% 4：授業態度20%
受講生へのメッセージ	音楽史の硬いイメージを取り払い、今日の音楽との関わりを丁寧に伝えるよう心がけます。 年号を暗記するなどの従来の方法だけでなく、実際の曲を通し、音楽の聞き方を一緒に広く変えていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：「Western Music」Claude V. Palisca他
副読本：「音楽中辞典」池辺晋一郎 等
準備物：メモ、筆記用具等

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	音楽理論Ⅰ（ musical theory Ⅰ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜または水曜1，2限

【授業の学習内容】
音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、
楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラッシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当

【到達目標】
音名を知ることから始め、5線に書かれた楽譜を読めるようにする。
また、メジャースケールや5度圏など、調性についての知識を習得する。

授業計画・内容	
1回目	楽譜の歴史を知る。
2回目	音名を知る。
3回目	音符・休符
4回目	拍子記号
5回目	反復記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	メジャースケール
8回目	メジャースケール
9回目	メジャースケール、5度圏、調号
10回目	メジャースケール、5度圏、調号
11回目	記譜法、臨時記号
12回目	記譜法、臨時記号
13回目	テンポ、強弱記号
14回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
15回目	期末テスト
準備学習時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	音楽理論Ⅱ（ musical theory Ⅱ ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	火曜または水曜1，2限

【授業の学習内容】
音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、
楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。

【到達目標】
マイナースケールや近親調など調性についての知識を習得する。
基本形でのコードがわかる。

授業計画・内容	
1回目	マイナースケールを知る。
2回目	マイナースケール
3回目	近親調
4回目	移調
5回目	奏法の記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	コード(トライアド)
8回目	コード(トライアド)
9回目	コード(7thコード)
10回目	コード(7thコード)
11回目	その他のコード
12回目	その他のコード
13回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
14回目	期末テスト
15回目	テスト返却、復習
準備学習時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	音響概論	必修選択	選択	年次	1	担当教員	松室 章徳
学科	商業音楽科	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	後期
コース	PAエンジニア				6	曜日・時限	土曜 4，5限

【授業の学習内容】
PAを目指していても、スタジオワークを理解していないでは足りない気がします。本来の音の再現性がレコーディングであり、そこに音響の原点があります。音楽録音をするのがここでの目的ではありません。本当の音を知ること、そしてスタジオワークを理解し、できるようになること。舞台とは違う世界を体感し、実習から習得します。
※大阪録音センターORECにてレコーディングスタジオ業務に携わる、その後神戸、愛知などの様々なラジオ番組制作を行い、現在フリーランスとしてRADIO-NEOのラジオ番組の制作や各種イベントを行う。

【到達目標】
音楽ビジネスだけで就職につながるかというと、なかなか難しいのがこの世界です。メディアなどに対応できるスキルを身に着け、チーム作業による「セルフプロディース」、自分たちで効果的な演出がなされているか確認・修正できる人材になってほしいと考えます。

授業計画・内容	
1回目	各自目標設定をしチーム分けを行い課題を提示します
2回目	（動画・ラジオ・CMを予定しています）それぞれのメディアの特徴を解説、その後チームで演出案を考察
3回目	（仮にA,Bの2チームとして） ①Aのスタジオ収録　Bの編集や効果音そろえ
4回目	②Aのの編集や効果音そろえ　Bのスタジオ収録
5回目	③Aのスタジオ収録　Bの編集や効果音そろえ
6回目	④Aのの編集や効果音そろえ　Bのスタジオ収録
7回目	⑤Aのスタジオ収録　Bの編集や効果音そろえ
8回目	⑥Aのの編集や効果音そろえ　Bのスタジオ収録
9回目	⑦Aのスタジオ収録　Bの編集や効果音そろえ
10回目	発表会 / 評論討議
11回目	（仮にA,Bの2チームとして） ①Aのスタジオ収録　Bの編集や効果音そろえ
12回目	②Aのの編集や効果音そろえ　Bのスタジオ収録
13回目	③Aのスタジオ収録　Bの編集や効果音そろえ
14回目	④Aのの編集や効果音そろえ　Bのスタジオ収録
15回目	発表会 / 評論討議
準備学習時間外学習	制作に関する音の素材などを用意して授業に臨むのはもちろんのこと、世の中にないものは作るという選択もあります。また（前週に予告した）宿題で「こんな感情を与えたいときのBGMで有名なものは？」を、各時間の頭に、発表していただきます
評価方法	いかに熱心に取り組み、何事にも関心を持てたか、そして習得できたかを評価します。（50%）またスタジオワークの基礎について、実習テストをします。（50%）
受講生へのメッセージ	エンタテインメントは、音楽だけでなく無限にあります。人を楽しませるという思いの原点は同じだと思います。ここで学ぶ演出は、いずれコンサートなどのPAでも活きることでしょう。なによりひと工夫もふた工夫もして、人を楽しませたい、という思いを、真剣にぶつけてみてください。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	音響概論	必修選択	選択	年次	1	担当教員	松室 章徳
学科	商業音楽科	授業形態	演習	総時間（単位）	90	開講区分	前期
コース	PAエンジニア				6	曜日・時限	土曜4,5限

【授業の学習内容】
PAを目指していても、スタジオワークを理解していないでは足りない気がします。本来の音の再現性がレコーディングであり、そこに音響の原点があります。音楽録音をするのがここでの目的ではありません。本当の音を知ること、そしてスタジオワークを理解し、できるようになること。舞台とは違う世界を体感し、実習から習得します。
※大阪録音センターORECにてレコーディングスタジオ業務に携わる、その後神戸、愛知などの様々なラジオ番組制作を行い、現在フリーランスとしてRADIO-NEOのラジオ番組の制作や各種イベントを行う。

【到達目標】
たとえば、コンサートの直前や中身の進行で、バンド以外の音が出ることもあります。作られた動画を流す場面もあります。こういったものも、スタジオワークで制作されていることを理解して、前期終了時には、何かの制作物を作れるスキルを身につけましょう。（これは講師がいなくてもスタジオを安全に使えることを大前提の目標としています）

授業計画・内容	
1回目	自己紹介～なぜPAなのにスタジオワークが必要かについて講義
2回目	スタジオでのルール①（電源から始まり、マイクの扱いなどについて）
3回目	スタジオでのルール②（電源から始まり、マイクの扱いなどについて）
4回目	実際にマイクを接続して、PAとの違いを耳で実感する
5回目	声とBGMをミックスする.2つ以上のものをミックスすることを学ぶ
6回目	屋外で録音する難しさを実感、効果音を収録してスタジオで聴いたときの違いにつて学ぶ
7回目	（前週に録った）効果音を使い、声、BGM、効果音をミックスについて学ぶ
8回目	逆に、スタジオ環境だからこそ録れる小音量の収録（時計やしずくなど）
9回目	プロツールスの基礎の使い方を学び、収録したものを自身のメディアに保存することを習得
10回目	チーム分けを行い、希望の制作物をヒアリング。各チームで別課題を提案します
11回目	（仮にA,Bの2チームとして） ①Aのスタジオ収録　Bの編集や効果音そろえ
12回目	②Aのの編集や効果音そろえ　Bのスタジオ収録
13回目	③Aのスタジオ収録　Bの編集や効果音そろえ
14回目	④Aのの編集や効果音そろえ　Bのスタジオ収録
15回目	発表会 / 評論討議
準備学習時間外学習	
評価方法	いかに熱心に取り組み、何事にも関心を持てたか、そして習得できたかを評価します。（50%）またスタジオワークの基礎について、実習テストをします。（50%）
受講生へのメッセージ	半年で、スタジオ内の作業ができるよう、基礎を叩き込んでください。誰の助けもなく、作りたいものを制作できるスキルと信用を得てください。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	著作権・業界知識（Copyright・Music industry knowledge）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	林達也
学科	商業音楽科	授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	コンサート企画制作				2	曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】
刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。　※米国Art Institute of Seattle（ミュージックビジネス専攻）卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーテイストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】
音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。
著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。□

授業計画・内容	
1回目	音楽業界の構造・応用編（1）□
2回目	音楽産業の構造・応用編（2）□
3回目	著作権の必須知識／使える著作権
4回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用（1）□
5回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用（2）
6回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など（1）
7回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など（2）□
8回目	インターナショナルな音楽活動／世界の音楽ビジネス事情□
9回目	音楽ビジネスにおける各種契約（1）
10回目	音楽ビジネスにおける各種契約（2）
11回目	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷
12回目	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点
13回目	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み□
準備学習時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。□ □

【使用教科書・教材・参考書】

使用教科書（学校より配布）：よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition（安藤 和宏）
参考書：18歳の著作権入門（福井 健策）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	著作権・業界知識（Copyright・Music industry knowledge）	必修選択	必修	年次	2	担当教員	林達也
学科	商業音楽科	授業形態	講義	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	コンサート企画制作				2	曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】
刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。☒米国Art Institute of Seattle（ミュージックビジネス専攻）卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーテイストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】
音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。
著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。□

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／音楽業界の構造（1）／日本のレコード産業・全体像□
2回目	音楽業界の構造（2）／日本レコード協会・JASRAC□
3回目	著作権の基礎（1）概要／構造
4回目	著作権の基礎（2）歴史／現在□
5回目	アーティストの権利／印税とは
6回目	収入シミュレーション（CD販売）
7回目	収入シミュレーション（ダウンロード／音楽配信）
8回目	日本におけるカラオケの歴史と市場／印税配分□
9回目	著作権の保護期間／フェアユース／問題点など
10回目	ミュージックビデオ／プロモーションビデオの歴史と成り立ち
11回目	レンタルCD市場の歴史と著作権
12回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（1）
13回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（2）
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み□
準備学習時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10% 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生へのメッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。□ □

【使用教科書・教材・参考書】

使用教科書（学校より配布）：よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition（安藤 和宏）
参考書：18歳の著作権入門（福井 健策）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	番組企画制作Ⅰ（Program planning and production Ⅰ）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	藤村 典子
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	後期
コース	マネージャーコース				2	曜日・時限	水曜　1限

【授業の学習内容】
マスメディアと宣伝、テレビ局と新聞社など音楽業界の関係性をはじめ番組制作に必要なイベント制作について学ぶ。また楽器についての知識を楽器セッティングを通じて習得する。※プロダクションである株式会社アミューズを経て、フリーランスとして名古屋を中心としたバンドマネジメント・制作を行う。

【到達目標】
コンサート・ライブ・イベントの制作についての基礎知識の習得。
アーティストマネージメント・ファンクラブスタッフとしてコンサート・ライブ・イベントを実施できるようにする。

授業計画・内容	
1回目	会場・会館の舞台機構と名称・会館・ステージ・楽屋など会場の構造と設備について学ぶ
2回目	会場・会館の舞台機構と名称・会館・ステージ・楽屋など会場の構造と設備について学ぶ
3回目	会館研修　会館でのステージ・楽屋など様々な設備について学ぶ
4回目	企画書と制作の関係と必要性を学ぶ
5回目	企画書とイベントの関係。企画書の概念。企画書の書き方を学ぶ
6回目	企画書とイベントの関係。企画書の概念。企画書の書き方を学ぶ
7回目	マーケティング～ライブを制作あたってのマーケティングを学ぶ
8回目	マーケティング～ライブを制作あたってのマーケティングを学ぶ
9回目	企画書の作成～企画立案
10回目	企画書の作成～企画立案
11回目	コンサート・ライブ制作～ 会場のブッキング、コンサート（ライブ）の予算について学ぶ
12回目	コンサート・ライブ制作～ 出演者ブッキング、宣伝について資料作成を行う
13回目	コンサート・ライブ制作～ 出演者ブッキング、宣伝について資料作成を行う
14回目	試験
15回目	総括
準備学習時間外学習	
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題提出（50%）
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	番組企画制作Ⅰ（Program planning and production Ⅰ）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	藤村典子
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30	開講区分	前期
コース	マネージャーコース				2	曜日・時限	水曜　1限

【授業の学習内容】
マスメディアと宣伝、テレビ局と新聞社など音楽業界の関係性をはじめ番組制作に必要なイベント制作について学ぶ。また楽器についての知識を楽器セッティングを通じて習得する。※プロダクションである株式会社アミューズを経て、フリーランスとして名古屋を中心としたバンドマネジメント・制作を行う。

【到達目標】
番組制作に必要な各種イベント・コンサートの制作についての基礎知識を習得し、コンサート・ライブ・イベントを実施できるようにする。

授業計画・内容	
1回目	授業の説明。番組制作などに必要なイベント制作の基本的な概念を学ぶ。
2回目	イベンター（プロモーター）とアーティストマネージメントの関係。コンサートスタッフの仕事について学ぶ。
3回目	プロダクション・レコードメーカーでの業務について学ぶ。
4回目	野外フェスティバル（夏フェスetc）マネージャーとしてのかかわり方を学ぶ
5回目	楽器についての知識と必要性。用語、機材についての知識を習得
6回目	楽器についての知識と必要性。ドラムなどのセッティングを習得
7回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
8回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
9回目	現代のライブシーンを考察し、これからのライブ制作について学ぶ。
10回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
11回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
12回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
13回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
14回目	試験
15回目	総括
準備学習時間外学習	
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題提出（50%）
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	番組企画制作Ⅱ（Program planning and production Ⅱ）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	藤村典子
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 4	開講区分	後期
コース	マネージャー					曜日・時限	木曜 4.5限

【授業の学習内容】
プレゼンテーションを見据えた企画立案と企画書作成の実施。タイアップ企画のプレゼンテーションプレゼンテーションのツール制作などを行う.※。※プロダクションである株式会社アミューズを経て、フリーランスとして名古屋を中心としたバンドマネジメント・制作を行う。

【到達目標】
マネージメントとしてコンサート・ライブ・イベントの企画書作成とプレゼンテーションが実施できるようにする。

授業計画・内容	
1回目	前期振り返り
2回目	マーケティングとプロモーションについて学ぶ
3回目	プロモーションにおける、タイアップについて学ぶ
4回目	番組制作とスポンサーについて学ぶ。
5回目	番組企画に必要なマーケティングについて学ぶ。
6回目	企画書に必要な概念。1W5Hについて学ぶ。
7回目	プレゼンテーションに必要な概念を学ぶ。
8回目	プレゼンテーションをロールプレイングで体験する。
9回目	プレゼンテーションにむけた企画書の書き方の説明
10回目	タイアップを前提とした企画書の作成。企画立案と企画書作成
11回目	タイアップを前提とした企画書の作成。企画立案と企画書作成
12回目	各自課題に沿ってプレゼンテーションを行う。
13回目	各自課題に沿ってプレゼンテーションを行う。
14回目	試験
15回目	総括
準備学習時間外学習	
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題提出（50%）
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校　2023年度 シラバス

科目名（英）	番組企画制作Ⅱ（Program planning and production Ⅱ）	必修選択	選択	年次	2	担当教員	藤村典子
学科	商業音楽科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 4	開講区分	前期
コース	マネージャー					曜日・時限	木曜4. 5限

【授業の学習内容】
プレゼンテーションを見据えた企画立案と企画書作成の実施。タイアップ企画のプレゼンテーションプレゼンテーションのツール制作などを行う.※。※プロダクションである株式会社アミューズを経て、フリーランスとして名古屋を中心としたバンドマネジメント・制作を行う。

【到達目標】
マネージメントとしてコンサート・ライブ・イベントの企画書作成とプレゼンテーションが実施できるようにする。

授業計画・内容	
1回目	前期授業のオリエンテーション。
2回目	音楽業界～メディア（ラジオ、テレビ番組など）とイベントの関係性について学ぶ。
3回目	音楽業界～イベンター（プロモーター）とアーティストマネージメントの関係性について学ぶ。
4回目	番組制作における、企画書の基本概念について学ぶ。
5回目	イベント・ライブ実施に必要な企画書の作成について学ぶ。
6回目	イベント・ライブ実施に必要な企画書の作成。マーケティング（会場の選定など）を学ぶ。
7回目	番組制作に必要な、予算、スポンサー、プロモーションについて学ぶ。
8回目	プロモーションとプロモーションの必要性について学ぶ。
9回目	プロモーションにおける、マスメディアの活用と、種類について学ぶ。
10回目	アーティストとタイアップの関係について学ぶ。
11回目	効果的なプレゼンテーションについて学ぶ。
12回目	プレゼンテーションに必要なツール制作について学ぶ
13回目	プレゼンテーションに必要なツール制作について学ぶ
14回目	試験
15回目	総括。後期授業の説明
準備学習時間外学習	
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題提出（50%）
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】